

# EX 推進管 (JB)

日本下水道協会規格JSWAS A-2 認定番号014501

## 管の種類及び呼びの範囲

### 1. 適用範囲

この規格は、下水道推進工法に使用する鉄筋コンクリート管について規定する。(呼び800~3000)

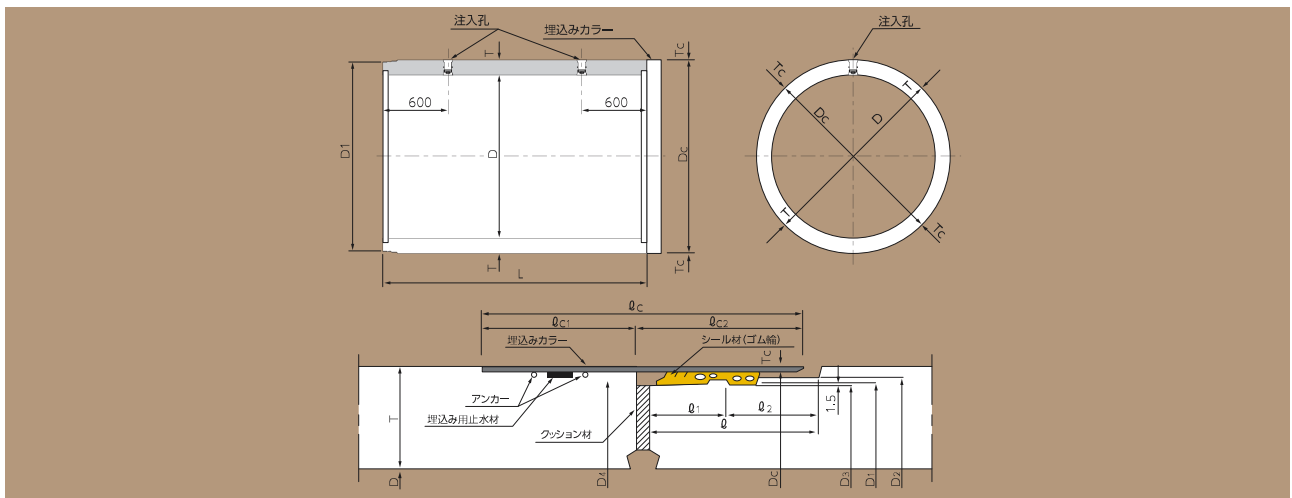
### 2. 種類

管の種類は、形状によって標準管及び中押管、管に作用する荷重状況で外圧管のみ、外圧強さで1種、2種、3種、管体コンクリートの圧縮強度は50N/mm<sup>2</sup> (500kgf/cm<sup>2</sup>)、70N/mm<sup>2</sup> (700kgf/cm<sup>2</sup>)以上のものである。

形状	種類					種類の記号	呼びの範囲			
	内外圧	外圧強さ	内圧強さ	圧縮強度	継手性能					
標準管	外圧管	1種	—	50	JB (0.2MPa)	EX JB51	800~3,000			
				70		EX JB71				
				90		EX 91				
		2種		50		EX JB52				
				70		EX JB72				
				90		EX JB92				
	内圧管	1種	AW2 (0.2MPa)	50	EX AW2 JB51					
				70	EX AW2 JB71					
		2種	AW4 (0.4MPa)	50	EX AW4 JB52					
				70	EX AW4 JB72					
		3種	AW6 (0.6MPa)	50	EX AW6 JB53					
				70	EX AW6 JB73					
中押管	内外圧管	—	—	—	—	EX JB5	900~3,000			
						1種		AW2	50	EX AW2 JB51
									70	EX AW2 JB71
									90	EX AW2 JB91
						2種		AW4	50	EX AW4 JB52
									70	EX AW4 JB72
90	EX AW4 JB92									
3種	AW6	50	EX AW6 JB53							
		70	EX AW6 JB73							
		90	EX AW6 JB93							

注) 中押管は、SとTを1組として使用します。

## 形状



## 標準寸法表

単位: mm

呼び径	内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	有効長 L	φ	φ1	φ2	φC1	φC2	φC	Tc	Dc	参考質量 (kg)
800	800	933	942	930	939	80	2430	132	60	72	120	130	250	4.5	951	1330
900	900	1053	1062	1050	1059	90									1071	1670
1000	1000	1173	1182	1170	1179	100									1191	2060
1100	1100	1283	1292	1280	1289	105									1301	2380
1200	1200	1403	1412	1400	1409	115									1421	2840
1350	1350	1563	1577	1560	1569	125								6	1588	3460
1500	1500	1743	1757	1740	1749	140									1768	4310
1650	1650	1913	1927	1910	1919	150									1938	5060
1800	1800	2083	2097	2080	2089	160									2108	5890
2000	2000	2313	2327	2310	2319	175									2338	7140
2200	2200	2543	2557	2540	2549	190								9	2568	8520
2400	2400	2763	2779	2760	2769	205									2792	10100
2600	2600	2993	3009	2990	2999	220	3022	11700								
2800	2800	3223	3239	3220	3229	235	3252	13400								
3000	3000	3453	3469	3450	3459	250	3482	15300								

注) 1. 標準管の有効長(L)は1200とすることができる。  
2. 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長(L)は2430、1200とする。  
3. 有効長の最大と最小との差は、3mm以内とする。

4. 呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。  
5. 注入孔の数及び位置は、必要に応じて変更することができる。